

2 団体が決意表明

その後、国民医療推進協議会の2つの団体から決意表明が行われた。

大久保満男日本歯科医師会会長は、「3割負担になった時から、社会保障の限度を超えていると反対運動を進めてきた。さらに患者負担を求めることは医療者として耐えられない。TPPは医療を市場の波の中に放り出すことになる。そんなことにならないようにしなければならない。世界に冠たる国民皆保険制度を守り、少しでも良くして次世代に引き渡すために努力していくことが、われわれの役目だ」との考えを示した。

児玉孝日本薬剤師会会長は、「国民皆保険制度はいつまで持つのか、この不景気な時に3割に加えて100円負担しなければならないことに国民は不安に思っている。TPPは日本の薬価制度を壊すことになり、反対していかなければならない」と力を合わせて行動するとの決意を表明した。

その後、山崎學日本精神科病院協会会長が、本大会の決議案（別掲）を朗読。満場の拍手をもって決議案は採択された。

最後に、羽生田俊日医副会長の掛け声の下、参加者全員が起立して「頑張ろうコール」を行い（写真）、会は終了した。

決 議

このたびの東日本大震災は、未曾有の出来事であり、被災地の一日も早い復興を願うものである。

このような時こそ、明日の安心を約束する持続可能な社会保障体制を守ることが必要である。

今、患者にさらなる負担を求める受診時定額負担の導入を進める動きがある。

また、TPP交渉のなかで、公的医療保険が対象となれば、医療の市場化を招く事態が強く懸念される。

これらはいずれもわが国の優れた公的医療保険制度を崩壊へと導くものである。

われわれは、だれもが等しく医療を受けられる国民皆保険を、これからも断固守り続けていく。

以上、決議する。

平成23年12月9日

日本の医療を守るための総決起大会

お知らせ

マスミューチュアル生命保険 「団体扱い」のご案内

◇医業経営・福利厚生部◇

当会と団体取扱生命保険契約をしておりますマスミューチュアル生命から、現在、団体取扱協約による団体維持人員数を下回っており、2012年1月をもって「団体取扱契約の解除」となる旨の申し入れがありました。

つきましては、保険加入をご検討の会員がおられましたら、ぜひともご考慮いただきたくお願いいたします。

加入につきましては、マスミューチュアル生命へご連絡していただき、お手続きを行ってください。

また、すでに、個人扱いでマスミューチュア

ル生命にご契約されている会員がおられましたら、当会団体扱いへ切り替えていただきますと保険料が割引されますので、ご協力いただければ幸いです。

手続き方法は、契約された時の営業担当員へ「北海道医師会団体扱い」へ切り替えたい旨を連絡され、所定の用紙を提出することにより完了します。

保険料の払込方法は、開業会員は「国保診療報酬」から、勤務医会員は預金口座から毎月自動振替（無料）いたします。

【マスミューチュアル生命保険株式会社】

〒135-0063

東京都江東区有明3-5-7

カスタマーサービスセンター

フリーダイヤル：0120-817-024

【預金口座振替取扱銀行】

北海道銀行・北洋銀行

お問合せ先

北海道医師会 事業第五課 Tel. 011-231-1434